

環境研究総合推進費 令和7年度事後評価個票

研究課題番号	4RF-2203
研究課題名	気候変動の影響評価に向けた地球規模の海洋性動物プランクトン多様性解析
研究実施期間	2022（令和4）年度～2024（令和6）年度
研究代表機関名	東京大学
研究代表者名	平井惇也

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

海洋性動物プランクトンを対象にして、DNA バーコーディングに加え、より効率的に有用配列を取得できる「ゲノムスキミング」技術を確立した。さらに、太平洋・インド洋の既存試料を対象に高度化したメタバーコーディング解析を実施し、国際共同研究を通じて地球規模の多様性解析へ発展させた点は高く評価できる。これまでには rDNA や COI などの特定の領域で DNA バーコーディングを行ってきたが、本研究では mtDNA の長い contig を多種で作成して、データベース化して今後の種分化や進化の研究に活用が期待される。一方、「気候変動の影響評価に向けた」の部分については今後の課題であり、引き続き環境政策等に貢献する研究課題にも取り組んでもほしい。また、将来的に民間が利用可能な汎用性高い手法改良を目指してさらなる研究の発展を期待する。なお、報告書に、誤字脱字衍字が散見されるので提出前に内容の十分な確認をされたい。